

伊勢崎のビッグバンド

ジャズで届け支援

フルート奏者は銘仙姿



伊勢崎市内のジャズ愛好家で作るISE SAKI・SMC（鈴木直男代表）は23日、伊勢崎市文化会館で東日本大震災支援を兼ねた第7回ジャズコンサートを開き、1500人の聴衆に、ジャズの定番から八木節、「明趣向をこらしたSMCの演奏

伊勢崎市内のジャズ愛好家で作るISE SAKI・SMC（鈴木直男代表）は23日、伊勢崎市文化会館で東日本大震災支援を兼ねた第7回ジャズコンサートを開き、1500人の聴衆に、ジャズの定番から八木節、「明趣向をこらしたSMCの演奏

支援 東日本大震災関連 暮らし

趣向をこらしたSMCの演奏

同会は1979年、小倉茂夫さんの音楽教室生徒を中心に結成されたSMCオーケストラが前身。91年に新たに仲間を募りジャズのビッグバンドとして発足、隔年でコンサートを開くほか、ダンスパーティーなどを主催している。

今回は23人が出演、年齢は最年少25歳から

富岡市が放射性物質測定 2日から

富岡市は、市民が栽培を始める。測定予約を2日から受け付ける。費を目的に栽培した野

が目的。市民が自家消費を目的に栽培した野菜を測定する。小売店などで購入した食品は検査場所は市役所庁舎の環境課事務室で、

75歳まで。職業も学生、消防士、歯科医師、市職員、会社役員など多彩だ。曲間にトランペット担当の斉藤道彦伊

勢崎神社宮司がおはらいをしたり、フルート奏者は伊勢崎銘仙で演奏するなど楽しい仕掛けで会場を沸かせた。

フレッセイと 災害協力協定

桐生市

桐生市は25日、フレッセイ（前橋市力丸町）と災害時に物資を供給協力してもらう協定を結んだと発表した。市の協定締結は25件目で、東日本大震災以降では2件目。フレッセイは災害時、市の要請に応じて日常生活や応急処置に必要な物資を提供する。

放射性物質 野生タケノコ 出荷自粛を 渋川で採取

県が25日に渋川市

最大値は 楡沢集会所 桐生の線量

桐生市は25日、学校や運動場など市内55地点で18〜21日に行った定例の空間放射線量測定の結果を発表した。最大値は楡沢集会所で毎時0.233マイクロシーベルト。測定は今回で26回目。

165回連続不検出 県営4浄水場

県は25日、県営浄水場で22日に採取した水道水を検査した結果、いずれも放射性物質のヨウ素とセシウムは検出されなかったと発表した。不検出は昨年3月から165回連続となる。

25日の県内の空間放射線量 (モニタリングポスト、マイクロシーベルト/時 午後5時)

測定地点	測定値	測定高さ
前橋・県衛生環境研究所	0.023	21.8m
〃	0.047	
太田・くんまこどもの国	0.065	
富岡市生涯学習センター	0.071	
道の駅 草津運動茶屋公園	0.075	
川場村武道館	0.080	
高崎・みねはら公園	0.049	
桐生市市民文化会館駐車場	0.045	

検査対象は、県央第一（榛東村）、新田山

県は25日、太田市と千代田町で採取した牛の飼料などに使う麦わら2検体を調べた結果、いずれも放射性物質と

健康福祉大は30日、高崎市中大司大で、人間発達学部（森部英長）の開設を記念し、シンポジウム保育者・教育者に求められ」を開く。専門家を招き、保育の在り方を探る。

リストは、同市の飯野真幸教育

育や教育の り方考えよう

教委の久保信行指導主監、県私園協会研究部の小和瀬たかみ副県特別支援学校長会の常木英明赤城育心保育園の深町穰園長、育大の若井彌一学長。学部長は「それぞれの立場から課題を指摘してもらい、今後の高崎で30日シンポ 指導に生かしたい」とシンポジウム成果に期待している。